SQS-SE-09-0117

取扱説明書

ISO 9001
JQA-QM8678

微酸性電解水噴霧装置(オプション)

SFA-60

R01　2010/1

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

—□□—

□□□□□□□□□□□□□□ ················· 1-7

□□□□□□□□ ······························ ·8

□□□□□ ···································· ·9

□□□□□ ···································· 10

□□ ·· 11

SFJ□□□□□□□ ···························· 12

□□□□□□□□□□ ························ 13.14

□□□□□□□ ································ 15

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ ··· 16

□□□□□□□□□□□ ······················ 17

□□□□□□ ························ 18

□□□□□□ ································· ·19

□□□□□□□□□□□□□ ··················· ·20

□□□□□□□□□□ ····· ················· 21

安全に使用していただくために

⚠危険

⚠警告

⚠注意

● ⚠危険 ⚠警告

● ⚠注意

⚠危険

[illegible]

⚠警告

[illegible] 1m [illegible]

注意

0℃ 40℃ 40℃

0℃

10 (20)

注意

⚠危険

[illegible]

[illegible] / [illegible] 18 [illegible] 28 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] (OFF) [illegible]

⚠警告

[illegible]

⚠注意

[illegible] (OFF) [illegible]

安全上の注意事項

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。本書では、安全上の注意事項のランクを「警告」「注意」として区別してあります。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■絵表示例

一般的な禁止事項　分解禁止	この図記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 ⦸の中に具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止事項）が描かれています。 **一般的な禁止は、右の記号で表示します。**
一般的な強制事項　電源プラグを抜く	この図記号は強制（必ずしなければならないこと）を示しています。 ●の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制事項）が描かれています。 **一般的な強制は、右の記号で表示します。**

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

重要警告事項　⚠ 警告

カバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧回路があり、誤って触れると感電により、死亡または重傷を負う危険性があります。

装置から、異音、異臭、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。
装置から、異臭、異音、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。そしてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。万一、火災になった場合は消火器、または水などで消火してください。

Ａｐｉａ専用原液の取扱いには、十分注意してください。
取扱いの際には、保護眼鏡(保護面)、ゴム手袋、保護衣等を着用し、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は必ず手を洗ってください。
目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあります。
・目に入った場合は、目を擦らないで直ちに水道水で１５分間以上洗い流し、医師の診断を受けてください。
飲み込んだり、皮膚に付着したりすると炎症、傷害をおこすおそれがあります。
・誤って飲んだ場合は、できるだけ多量の水を飲み、直ちに医師の診断を受けてください。
・皮膚に付着した場合は、直ちに付着部あるいは接触部を多量の水道水で十分に洗い流してください。

接続上の注意事項　⚠ 注意

交流１００Ｖ以外の電圧では使用しないでください。
火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると中の芯線が断線したり露出するなど火災、感電のおそれがあります。

安全上の注意事項（つづき）

接続上の注意事項

⚠ 注意

電源プラグ・コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、絶対に使用しないでください。
火災、感電、ショートのおそれがあります。

電源プラグ・コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
火災、感電、ショートのおそれがあります。
- 折り曲げたり、ねじったりしない。
- 熱い所へ近づけない。
- 強い力で引っ張らない。
- 釘やステップルで固定しない。
- 重い物に挟み込まない。
- 高い所から落下させない。

装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けないでください。
装置の故障の原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 注意

装置を起動する前に負荷側の安全を確認し、この取扱説明書に従って運転操作を行ってください。
不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。

装置周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。
爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。

原水は、飲料水基準を満たした水、飲用地下水等を使用してください。
装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。また、一部の金属イオンを含んだ水では異物や着色の原因になることがあります。

原水は、５～３５℃の水を使用してください。
お湯等を使用すると、装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。

原水の水圧は０．２ＭＰａ～０．４ＭＰａで使用してください。
原水の供給異常により正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。

本装置が対応している原水の硬度は６０ｍｇ／Ｌ～１８０ｍｇ／Ｌです。
本装置は、原水の硬度が軟水～硬水に対応しています。超軟水・超硬水の場合は、事前に弊社にご相談ください。

原液は、Ａｐｉａ専用原液以外使用しないでください。
装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。

Ａｐｉａ専用原液の貯蔵、取扱いには十分注意してください。
塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
- 用途外に使用しないでください。
- 塩素系薬剤と混合しないでください。
- 原液を他の容器に小分けまたは、移し替えて使用しないでください。
- 子どもの手の届く所に置かないでください。
- 使用後の容器は他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。
- 直射日光を避け、換気の良い場所に保管してください。

腐食、変質、変色、サビのおそれがあります。
- 誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。
- 原液を廃棄する場合は多量の水で薄めながら廃棄してください。

Ａｐｉａ専用原液のキャップの開閉、本体へのセット時には容器の側面を強く押さないでください。
強い力で押さえると原液が噴出するおそれがあります。

濡れた手で操作しないでください。
感電のおそれがあります。また、装置の故障の原因になることがあります。

安全上の注意事項（つづき）

使用上の注意事項	⚠ 注意
❗	**微酸性電解水を生成・使用するときは、換気の良い所で行ってください。** 微量の塩素ガス及び水素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
❗	**ステンレス製のシンクで微酸性電解水を生成・使用・排水した後は、水道水をシンクに流してください。** サビ、変色の原因になることがあります。
❗	**金属製容器（鉄・真鍮・アルミ・銅・ステンレスなど）に使用した後は、水道水ですすいでください。** サビ、変色の原因になることがあります。
⊘	**微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外に使用しないでください。** 体調を損なうおそれがあります。
⊘	**生成した微酸性電解水を原水として使用し、再度生成しないでください。また、微酸性電解水を台所用漂白剤などと併用しないでください。** 塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
⊘	**子どもに使わせたり、手の届く所に置かないでください。** けがや体調を損なうおそれがあります。
⊘	**微酸性電解水を指輪などのアクセサリーにつけないでください。** 変色の原因になることがあります。誤ってついた場合は水道水で洗い流してください。
⊘	**装置を不安定な場所や高い所に置かないでください。** 転倒・落下によりけがをするおそれがあります。
⊘	**装置の上に物を乗せたり、衝撃をあたえないでください。** 装置の故障の原因になることがあります。
❗	**本装置は日本国内での使用を目的に製造されています。** 本装置を国外で使用すると、電圧、使用環境などが異なり発煙、発火の原因になることがあります。国外で使用する場合は、事前に弊社に御相談ください。

保守・点検上の注意事項	⚠ 注意
分解禁止	**教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。** 装置の修理、故障部品の交換は、お買い上げの販売店、または弊社営業担当に依頼してください。 カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。
❗	**本装置の電解槽部は消耗部品です。運転時間が４０００時間を超えたとき、または使用開始から１年を経過したときは、電解槽部の交換が必要になる場合があります。**
⊘	**装置を水につけたり、水洗いしたり、操作パネルに水をかけたりしないでください。** 火災、感電、ショートのおそれがあります。
❗	**装置が汚れたときは、電源を切った状態で、からぶきまたは、水を含ませ、よくしぼった布、ティッシュペーパーで拭き取ってください。** 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などを使用すると装置の故障の原因になることがあります。

ご使用になる前に

微酸性電解水について。

正式名称：微酸性次亜塩素酸水

●有効塩素濃度：１０～３０ｍｇ／Ｌ　●原料：希釈塩酸
●ｐＨ：５～６．５　●食品添加物対応（'０２.６.１０ 官報 第３３７８号）

特長1 除菌効果に速効性がある。

微酸性電解水には、次亜塩素酸（ＨＯＣｌ）が多く含まれているため、細菌・カビ菌・ウィルスなどにすばやい除菌効果を示します。

特長2 成分がほとんど残留しないため安心。

微酸性電解水は、除菌をすると有効成分は消失し、同時に塩などの残留物が残らないためベタつきを生じる心配がなく、どんな用途にも使うことができます。

特長3 食品を直接殺菌。

微酸性電解水は、味や臭いがほとんどないので、生野菜や果物、肉、魚介類などの食品の品質をおとすことなく直接殺菌することができます。

特長4 環境にやさしい。

有機物に触れると普通の水に戻るので、環境に影響をあたえません。また、発がん性物質とされるクロロホルムを生成しないのでとても安全です。

特長5 使用目的を選ばない。

細菌が原因となるイヤな臭いには、消臭効果を発揮します。また、生成した微酸性電解水を空中に噴霧することにより室内を常にクリーンに保つことができます。

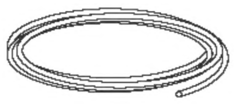
同梱品の確認

① 専用原液（１）

②原液用挿入管（１）
Ｏリング付

③テストペーパー（１）

④□□□□□0.6m□



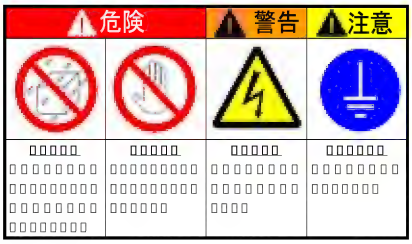
⑤□□□□□□3m□□□□□□□

重要ラベル

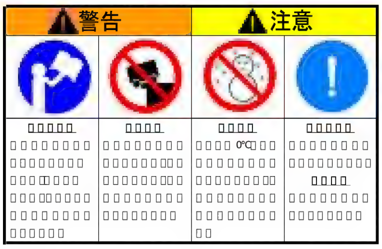
□□□
□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

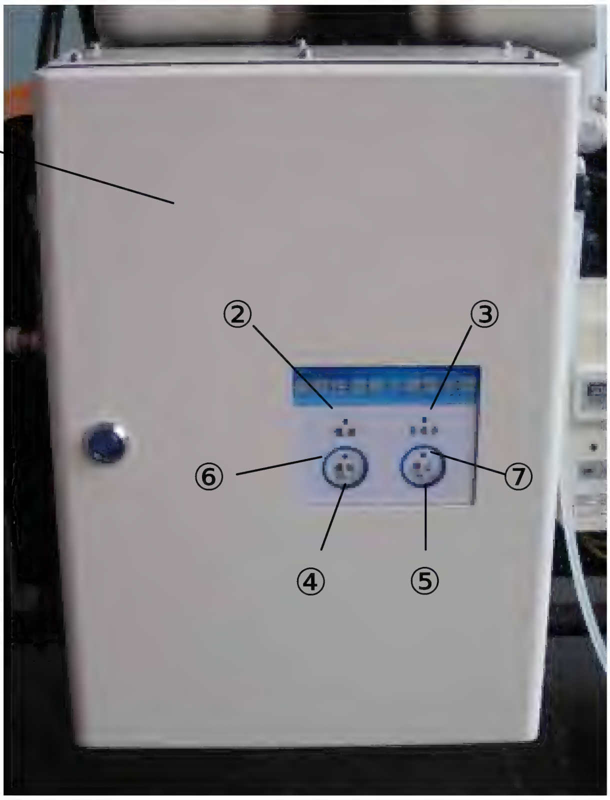
① (04000922)

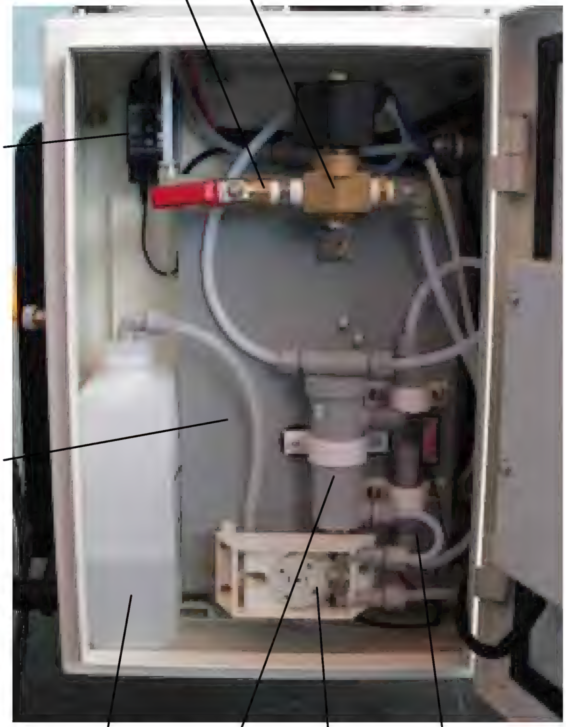


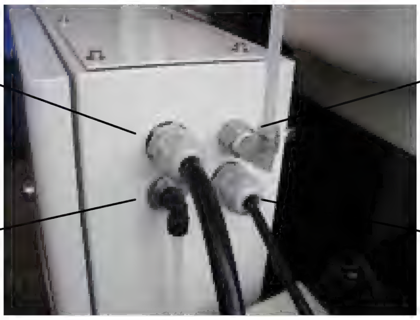
② (04000920)



各部の名称







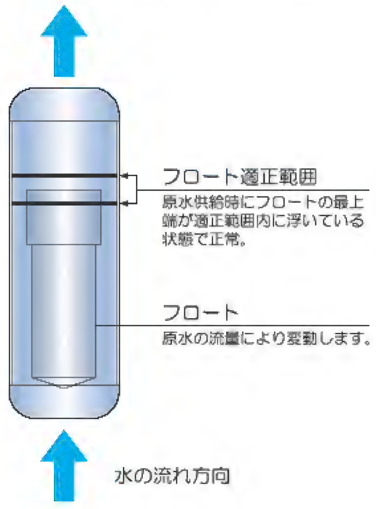
No.	[illegible]	No.	[illegible]
1	[illegible]	12	[illegible]
2	[illegible]	13	[illegible]
3	[illegible]	14	[illegible]
4	[illegible]	15	[illegible]
5	[illegible]	16	[illegible]
6	[illegible]	17	[illegible]
7	[illegible]	18	[illegible]
8	[illegible]	19	[illegible]
9	[illegible]	20	[illegible] SFA-60 [illegible]
10	[illegible]		
11	[illegible]		

仕　　　様

□□	□□□□□□□□□□
□□	SFA-60 (50Hz/60Hz □□)
□□□□(L/min)	1.0
□□□□□ Mpa (kgf/cm²)	0.1□0.4 (1□4)
□□□□□V□	AC100 (50/60Hz)
□□□□□W□	50
□□ L×W×H(mm)	163x320x410
□□□□(kg)	13
□□□	□□□□□□□ □□□□□□□□ □ □□□□□□ 1L/min□ □□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□
□□□	□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□ □□□□□3.5m□ □□□□□□ □ □□ □□□□□0.6m □□□□ 1L□ □□□□□ 3%□ □□□□□ □□□□□□□□□1□
□□□	□□□□ 1Lx3□ □□□ □□□□□ □□□□□□□□□□ □
□□□□	□□□□□□□□□

フローチェッカー詳細

原水の流れを確認することができます。



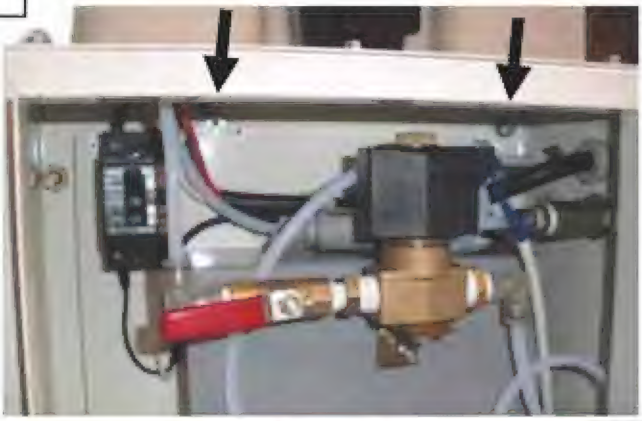
□□□□□□ 0.1MPa□□□
□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□

SFJへの取付、接続

1

①：SFJ本機からボールタップとラインストレーナブラケットを取り外します。
ロックナットをモンキーレンチまたはウォータープライヤーで回してゆるめ、黒いキャップをゆるめて取り外します。
M6ビス2本を＋ドライバーでゆるめて取り外してください。

2



②：SFA-60本体をSFJ本機フレームベースに取り付けます。

ラインストレーナブラケットを外したステーに取り付けます。

SFA-60の正面パネルを開いて、M5ビス2本を＋ドライバーで締め付けて取り付けてください。

3

③：SFA-60本体に原水チューブを差し込み、水道蛇口に接続します。次に電解水チューブを差し込みます。

4

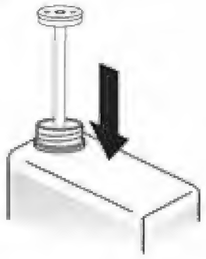
④：フロートセンサと電解水チューブをSFJ水タンクに取り付けます。まず水タンクキャップをねじこんで取り付けます。電解水チューブを差し込みます。フロートセンサケーブルのギボシ端子をはめ込み結線します。

微酸性電解水をつくる

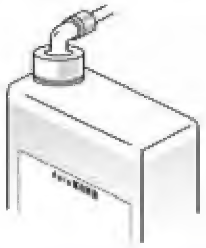
1 専用原液をセットする。

① 専用原液のキャップを開ける。

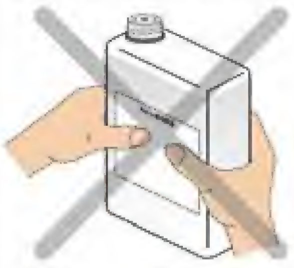
② 容器に原液用挿入管を奥まで差し込む。



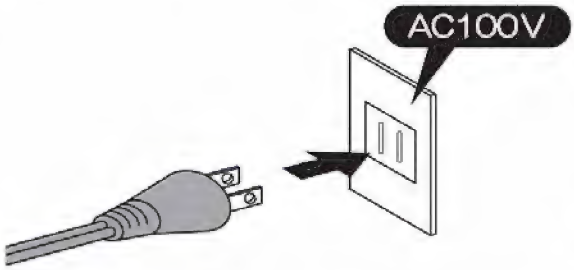
③ 原液供給キャップを水平にしっかり取付ける。



容器を持つときは、側面を強く押さないでください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む。



電源スイッチを入れると、
電源ランプが青色に点灯します。

※原液供給キャップを取付けるときは、斜めにキャップを閉めないでください。
※ 専用原液の取扱いには十分注意してください。

- 取扱いの際には、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は手を洗ってください。
- 用途外に使用しないでください。
- 塩素系薬剤と混合しないでください。
- 原液を他の容器に小分け又は移し替えて使用しないでください。
- 使用後の容器は、他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。
- 誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。
- 容器を倒したり傾けたりしないでください。
- 本品の使用は十分な換気の下で取扱いください。

→2ページ（安全上の注意事項）参照

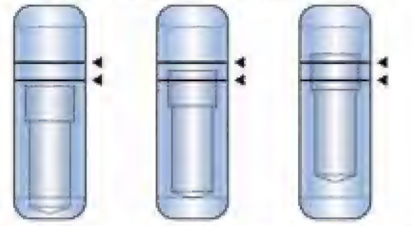
微酸性電解水をつくる（つづき）

3 水道水を供給する。

フローチェッカーを確認しながら
元栓で流量を調整する。

元栓（バルブの場合）

フロートの最上端が２本のライン（◀）内
に収まるように調整してください。



[illegible] 0.1MPa [illegible]

4 運転する。

操作パネルの「運転」ボタンを押す。

運転ボタンを押すと、
生成中ランプが緑色に点灯します。

はじめてお使いになる場合・・・

初回運転時や専用原液交換後は「運転」ボタンを押した数秒後にアラーム音が鳴りアラームランプが点灯します。これは装置の異常ではありません。警告音が鳴ったら再度「運転」ボタンを押して装置の再起動を繰り返し行ってください。
（配管洗浄後も同じ動作が必要になる場合があります）

5 水質を確認する。

付属のテストペーパーから
試験紙を１枚切り離す。

できあがった水に試験紙を
浸ける。

テストペーパーの袋に記載
されている色と比較する。

※本装置を暗い所で使用すると、フローチェッカーが見えにくくなる場合があります。フロートの状態が見える明るい所でご使用ください。
※原水入口ラインに付属の定流量弁を取付けた場合、流量調整の必要はありません。
※運転中はトビラを開けないでください。
※テストペーパーは高温、多湿、直射日光を避け保存してください。
※微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外には使用しないでください。

使い終わったら

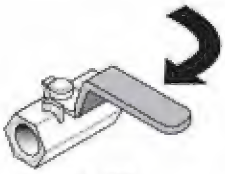
1 停止する。

操作パネルの「停止」ボタンを押す。

停止ボタンを押すと、
生成中ランプが消灯します。

2 元栓を閉める。

元栓（バルブ）を閉じて、水道水の供給を止める。



アラームランプの点灯（専用原液を交換する）

1 停止する。

操作パネルの「停止」ボタンを押す。

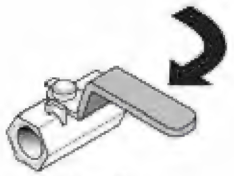
専用原液の残量不足や異常が発生するとアラーム音が鳴り、アラームランプが赤色に点灯します。（※）

停止ボタンを押すと、アラームランプが消灯します。

2 元栓を閉める。

元栓（バルブ）を閉じて、水道水の供給を止める。

バルブ開



バルブ閉

3 専用原液を交換する。

・原液を交換して、再度「運転」ボタンを押してください。
【専用原液をセットする】→　13ページへ

・原液が多量に残っている場合は、給水異常の可能性があります。
【水道水を供給する】→　14ページへ

（上記２つにあてはまらない場合は機器の故障が考えられます。
直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。）

※アラームの点灯（アラーム音）には、以下の３点の場合があります。

原液切れ　　**装置異常**

アラームが点灯したら、「停止」ボタンを押して、それぞれ対応してください。
→ 17 ページ（トラブルシューティング）参照

※アラームの点灯後に排出されている水は、微酸性電解水の効果がありません。
※アラームが点灯したら、再度「運転」ボタンを押すまで微酸性電解水は生成されません。
※　　専用原液の取扱いには、十分注意してください。

トラブルシューティング

こんなときは	考えられる原因	対処法
電源スイッチを入れても電源ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「電源スイッチ」を入れてください。
運転ボタンを押しても運転しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「電源スイッチ」を入れてください。
	外部からの信号が入っている。	外部信号を優先します。パネル操作は無効です。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
アラームが点灯している。（アラーム音がなっている）	Apia専用原液の残量不足。	原液を交換して、再度「運転ボタン」を押してください。
	Oリングが原液用挿入管からはずれている。	原液用挿入管にOリングを取付けてから原液をセットしてください。
	原液供給キャップが斜めに取付けられている。	原液供給キャップを水平にしっかり取付けてください。
	正しい原液がセットされていない。	専用原液をセットして、再度「運転ボタン」を押してください。
	原水の供給不足。（フロートSW off）	フロートの状態を確認しながら原水をを適量に調整して、再度「運転ボタン」を押してください。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
停止ボタンを押しても停止しない。	外部からの信号が入っている。	外部信号を優先します。パネル操作は無効です。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体から水が漏れてきた。	機器の故障。接続部のゆるみ等。	運転を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に電源が切れてしまった。	電源プラグを抜いた。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「運転ボタン」を押してください。
	電源スイッチを切ってしまった。	「電源スイッチ」を入れて、再度「運転ボタン」を押してください。
	停電になった。	
テストペーパーの色が紫色にならない。（微酸性電解水の範囲内に入らない）	Apia専用原液の不足。	原液を交換してください。
	運転開始直後に測定した。	数秒置いてから測定してください。
	機器の故障。電解槽の寿命。	お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が気になる。	原液の供給音等。	異常な音がする場合は、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に塩素臭がする。又は、強い塩素臭がする。	若干の塩素臭は微酸性電解水の水質によるもの。	特に問題はありません。換気を十分におこなってください。強い塩素臭がする場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

定期点検項目

[illegible]	[illegible]				
	[illegible]	[illegible]			4000h[illegible] 1[illegible]
[illegible]					
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]		○			
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]					
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]					
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]	○				
[illegible]					
[illegible]	○				
[illegible]					
[illegible]		○			
[illegible]					
[illegible]					●

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]●[illegible]

[illegible]SFJ[illegible]

無料修理規定

1.

2.

3.

(1)

①

②

③

④ ( )

⑤

⑥ ( )

⑦

⑧

⑨

(2)

①

②

③

※

わからない事や、故障したら

● [illegible]
[illegible]
[illegible]1[illegible] [illegible]2[illegible] [illegible]3[illegible]
[illegible]4[illegible]

スーパーフォグジェッター
保　証　書

[illegible]
[illegible]19[illegible]
[illegible]

[illegible]		SFA-60
[illegible]		[illegible]
[illegible]		[illegible]　　[illegible]　　[illegible]　　[illegible]
[illegible]	[illegible]	
	[illegible]	
	[illegible]	
[illegible]	[illegible] [illegible]　　(　　　)	

スーパー工業株式会社

5 3-7
566-0052 TEL(072)653-2721 FAX(072)653-2354

2 2-48
566-0052 TEL(072)654-3990 FAX(072)653-2912

4 15-13
132-0021 TEL(03)3653-2411 FAX(03)3653-2420

208
458-0915 TEL(052)626-3701 FAX(052)626-3702

7 1 1-24
003-0807 TEL(011)823-3661 FAX(011)823-3666

599-3
811-2205 TEL(092)622-6273 FAX(092)622-6279

5 1-7
566-0052 TEL(072)653-2721 FAX(072)653-2354

1-18-3
903-0812 TEL(098)887-0089 FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp E-mail:info@super-ace.co.jp